VJ 安全衛生方針

事故防止と安全衛生に関するコミットメント

ヴェオリアは水、廃棄物、およびエネルギー事業における世界のリーダー企業です。ヴェオリアの目標は、「責任」を含むヴェオリアのパーパス及び価値観に基づき、エコロジカル・トランスフォーメーションのリーダーとなることです。「責任」とは、事業の中心に人を置くことを意味し、それゆえ職場での安全衛生は常に私たちの最優先事項でなくてはなりません。

安全作業の遂行（日本の全ての安全法規およびヴェオリアの要求事項の順守）は、場所、状況、作業内容にかかわらず、ヴェオリア・ジャパンのあらゆる業務に適用され、グループ内外の利害関係者（従業員、顧客、パートナー、訪問者、委託会社、納入業者、その他利害関係者）に影響が及ぶ業務も含まれます。

ヴェオリアの安全衛生に関する取り組みは、以下**5**本の柱に基づき構成されています。

・マネジメントの関与
・労働安全衛生リスク管理の改善
・コミュニケーションと対話の促進
・従業員の教育と関与
・労働安全衛生パフォーマンスの監視と管理

当社の従業員は全員、従事する業務内容を問わず、等しい意欲と注意力をもって安全な行動を取る義務を負っています。また、いかなるマネージャーも、安全よりもコスト削減、オペレーション、売上、または利益を優先させてはなりません。この指示に背くいかなる行動も容認されません。

当社がさらに向上し、高い水準を目指すために、次の各分野での強化が必要です。

・ヴェオリアグループのパフォーマンス達成手段である労働安全衛生において、研究開発を推進する。従業員の経験、各事業活動での共有、顧客の要望等、そのきっかけを問わず、安全衛生の研究開発は、ヴェオリアの成長と魅力向上につながります。

・安全衛生担当マネージャーと従業員のスキルを維持・向上する。

・予防措置方法の共有をさらに強化するため、安全衛生管理ガイドラインが正確、かつ完全に実行されるよう取り組む。

・各地域・国の法規制を補完するヴェオリアの高リスク管理基準の要件を適用する。また、同基準をヴェオリアの委託会社にも適用する。

・安全衛生の課題につき、定期的に従業員やパートナー企業とコミュニケーションを図る。また、全員が自分自身と他人の安全に関与し、ヴェオリアグループが掲げる目標の達成に貢献する環境を整備する。

・最良事例（ベストプラクティス）を特定、分析、共有する。また、不安全行動・状況については、未然に特定、分析、共有し、事故の発生を防ぐ。

・安全パトロールや安全巡視を定期的、かつ継続的に行うことにより、各ビジネスユニットの強み、および改善を要する分野を把握する。

全ての従業員は、常にあらゆる安全対策を順守する責任を負っています。全従業員は、自分自身、および周囲の人々の危険状況を回避する行動を取らなければなりません。

安全はマネジメントの責任であり、チーム全員の安全衛生を確保するに必要な対策を確実に講じる責務を負っています。各マネージャーが、それぞれの責任下にある実務レベルを含むあらゆる階層で、当社の予防措置を講じるよう求めます。また本要求事項は、各自の年次評価における極めて重要な評価項目とします。

皆さんがグループの安全衛生コミットメントを尊重し、推進していただけることと強く確信しています。このコミットメントを日本のヴェオリアグループ全体で確実に順守していくために、私自身も最善を尽くします。

ヴェオリア・ジャパン合同会社
代表取締役社長　ギヨーム・ドゥルダン

COR-HAS=VJ安全衛生方針=230901